

# 報告

## 平成28年度 東京都と東京都生活協同組合連合会との協働事業 地域3会場での開催に向けたキックオフ集会

地域会場で協働事業をすすめるようになって4年目となりました。東京都と生協、そして消費者団体や行政が協力して協働事業をすすめることの意義や、これまでの開催地からの報告を受け、今年度も高齢者の消費者被害が少しでも減らしていける取り組みにできるよう考えあいました。

開催日時：2016年7月19日(火)  
10:30~12:30  
開催場所：飯田橋・セントラルプラザ16F  
学習室A  
参加実績：合計 41人  
生協関係 14名 消費者団体 11名 行政 8人  
連絡会メンバー等 6人 東京都生協連 2名  
主催：東京都生協連消費者行政連絡会

### ◆プログラム◆

10:30~開会  
10:35~東京都よりご挨拶  
10:40~東京都と東京都生協連の協働事業について  
10:55~2015年度の取り組み報告  
・府中市・墨田区  
11:15~2016年度の取り組みの進め方について  
11:30~グループワーク  
12:15~グループ発表  
12:25~事務局連絡  
12:30~閉会

### 東京都と東京都生協連の協働事業について

今年で7年目をむかえる協働事業の取組みは、消費者庁が設立された平成21年から東京都と東京都生協連とで協定を結び、地方消費者行政活性化基金を活用してすすめてきました。事業の中身は年度ごとにさまざま、6つの地域生協の広報誌や商品案内チラシの裏面を使っ  
ての消費者問題関連の情報提供や啓発、シンポジウムや講演会の開催、若者向けにリスク回避  
ハンドブックやブックカバーなどの啓発グッズの作成、また、現在も東京都生協連のホームペ  
ージで継続しているeラーニングの作成などを行ってきました。一向に減ることのない消費者  
被害の拡大防止や消費者教育の啓発をすすめるために、地域や大学と共に講演会等を行った時期もありましたが  
昨年からは高齢者の消費者被害防止に絞って取り組みをすすめています。今年度も地域3会場で高齢者の消費者  
被害防止の取り組みを進めます。行政、生協、消費者団体などで連携の輪を広げて取り組みましょう。



東京都生協連  
遠山 孝治

### 2016年度の進め方について

東京都生協連の事務局より、それぞれの地域ごとに実行委員会を立ち上げてすすめることや、会の主催はそれぞれの実行委員会となること、開催地域の行政区を後援または共催とすることなどを基本として取り組みをすすめていくことを確認しました。

#### 共通の名称

平成28年度 東京都と東京都生活協同組合連合会との協働事業

#### 地域テーマ・内容

高齢者の消費者被害防止をテーマとした講演会等の実施

#### 目的

- ・高齢者の消費者被害防止につながる取り組みをすすめます。
- ・消費者団体相互、消費者団体と消費者行政との連携を深めます。
- ・地域の現状を知るとともに、地域にある消費者センターの存在やその役割について理解を深めます。



#### 開催地域

- 世田谷区 ● 調布市 ● 多摩市

#### 実施期間

平成28年10月~平成29年3月初旬頃まで



## 2015年度の取り組み報告 府中市



府中市生活環境部経済観光課  
塩澤 美紀さん

昨年の取り組み概要と経緯、すすめるにあたって大切にしていたこと、実行委員会で頑張ったこと、工夫したことなどをお話頂きました。

なるべく多くの方に来てもらうには楽しさが伝わるのが一番だと、府中市はマジックショーと紙芝居での開催とし、タイトルも消費者被害防止を前面に出さないタイトルにするなどの工夫をしました。府中市には消団連がないので、社会福祉協議会に声をかけて実行委員になってもらったことで、グループホームや大きな講演会で参加の呼びかけを行うこともできました。行政でも市内の自治会回覧版で6400枚程のチラシを配布したり、市報も写真入りで目立つようにしました。当日は100人を超える参加者とともに楽しく開催することができ、1行政では感じる事のできない達成感を感じることができました。

## 2015年度の取り組み報告 墨田区



コープみらい1ブロック委員長  
花本 純子さん

実施前の企画段階から実行委員会を立ち上げるまでの経緯や取り組みの概要、工夫した点や、事業を終えて感じた事などお話頂きました。

墨田区は立ちあがりまでに時間がかかり、昨年のキックオフには墨田区は自分一人だけの参加となり、不安なスタートでしたが、実行委員会が立ち上がったからは行政と消費者団体とで協力し合い、参加者に楽しく学んでもらえるプログラムを考えあうことができました。消費者被害というところか難しい話ととらえられがちですが、つねに笑い声が響き、なんども繰り返される「困った時は消費者センターに相談」という言葉がきっと心に残り、いざという時に思い出していただける会になったと思います。協働事業と名前にもあるように、様々な団体と一緒にすすめることの大切さを改めて感じました。

## 地域ごとのグループワーク

世田谷区・調布市・多摩市で3つのグループに分かれて、どんな内容にしたいかや実際の開催形式、自分の住む地域での開催場所候補などを出し合い、イメージを共有しました。

### ●世田谷区 **タイトルも内容も来たい！と思える楽しさが伝わるものにしたい。**

〈こんな内容でやってみたい〉

- ・マジック ・参加型で〇×クイズ ・立川平林さんの落語
- ・地域の人の朗読劇 ・茶の間サロン

〈参加希望月〉

- ・3月3日(金) PM 三軒茶屋分庁舎5階 三茶しゃれなあどホール オリオン

### ●調布市 **参加型で、楽しめるところ、学べるところのある内容にしたい。**

〈こんな内容でやってみたい〉

地域で活動する団体や見守りに関わる人などを巻き込んで行いたい

- ・落語 ・〇×クイズ ・地域の方のお話 ・試食や景品

〈参加希望日時・会場等の希望〉

- ・2月20日(月) 平日PM たづくり12Fホール

### ●多摩市 **消費生活展(フォーラム)の1企画として開催する。**

〈こんな内容でやってみたい〉

笑いながら楽しく学べるような内容にする。 第1回実行委員会

- ・詳細等は実行委員会で話し合いながら決めていく。8/29 13:30~

〈開催希望日時・会場等の希望〉

- ・12月2日(金) AMで決定。 ベルブ永山 ホール



## 参加者の感想より

- ・昨年の取り組みが良くわかり、グループワークで地域の方とお話出来てとても参考になりました。
- ・楽しく学んで、一人暮らしの人にも気軽に来てもらいたいと思います。実家の父母にも是非案内したいです。
- ・協働事業開催まで準備が大変だと思いますが、参加された方々に喜んで頂けている様子が報告からよく伝わりました。
- ・たくさんの方が集まれば知恵もいっぱい出るものだと思います。
- ・すすめ方など地元開催となった時に役に立つと思いました。
- ・取り組みが良くわかりました。次回はぜひ目黒区で開催をお願いします。